

**Redesign of three traditional houses
in the historic district, KIRAGAWA, KOCHI**

Department of Infrastructure Systems Engineering

1085514

Takeshi HIRAMATSU

Abstract

KIRAGAWA was selected for Important Preservation Districts for Groups of Historic Buildings in 1997.

It is worth leaving the district for posterity that composed in climate of KOCHI. But, there is crisis situation Important Preservation Districts for Groups of Historic Buildings with aging of population and decreases of young people. And so redesign of three traditional houses in the historic district, KIRAGAWA, KOCHI as the Master's design. The aim of this Master's design is to create Key Station and historic districts keeping of good condition.

So, the direction of the design is decided as follows;

1. Inherit characteristics and karma from the existing building.
2. Creating it to the place where it can enjoy the historic district, nature, and an interchange of tourist and resident.
3. Creating the attractive exhibition by imminent environment.
4. Reviving the exterior of historic building.

『MACHINAMI』, 『OMATSURI』, and 『SUMI』 are typical of culture, KIRAGAWA. The three exhibitions are distributed to three Key Station that is possible in a suitable place and meaty exhibition.

『MACHINAMI Key Station』

The proposal of 『MACHINAMI Key Station』, which appropriate to gate.

『OMATSURI Key Station』

The proposal of 『OMATSURI Key Station』, which is a lot of flexibility space.

『SUMI Key Station』

The proposal of 『SUMI Key Station』, which forms the nucleus of the KIRAGAWA-WEST.

Keyword: Important Preservation Districts for Groups of Historic Buildings, Key Station, existing building, Reviving

修士設計要旨

吉良川の伝統的町並み拠点施設づくり —三棟の木造住宅改修の提案—

社会システム工学コース 1085514

平松 武

目的・構成

室戸市吉良川は平成9年に伝統的建造物群保存地区（以下、伝建地区）に制定された。

吉良川は西の川と東の川に挟まれた約900mの旧道沿いに近代に建築された商家や民家が建ち並んでいる。高知の気候風土の中で構成された歴史的町並みとして、大変貴重なものであり、後世に残すべき価値ある町並みである。

しかし、町並み整備が進んでいない状態である。また高齢化や若年層の流失により建物の維持・管理が困難な状況となり、伝建地区としての町並みの存続の危機的状況になりつつある。

そこで、室戸市から高知工科大学で吉良川のまちづくりを総合的に行なってほしいと依頼された。本計画はその一部を担っており、近い将来所有者に返還される事が決まっている『町並み館』、『お祭り館』に変わる新たな町並み拠点施設を三棟の木造住宅を改修してつくるというものであった。本修士設計では室戸市吉良川町伝統的建造物群保存地区の町並み拠点施設づくりとして、三棟の木造住宅の改修を行なうと同時に、伝統的町並み保全を行なうことを目的としている。

本修士設計は7つの章から構成されている。

1章では室戸市吉良川の位置、町並みの特徴、屋敷の特徴、町並みを特徴づける歴史等を理解し、吉良川の概要を示す。2章では改修を行なう三棟の木造住宅を実測し、図面を作成した。また住民の方々からの意見を聞き取り、三棟の木造住宅の概要を示した。3章では吉良川での改築に当たり、考慮しなければならない条例や、高知県庁、室戸市から示された条件等を整理し、4章で拠点施設づくりの方針を示した。5章では住民説明会で発表した提案を示す。またその提案を基に住民の意見や室戸市の考え方を議事録として示し、それらの意見を参考に、最終提案までの過程を示す。6章では最終提案として平面図や模型写真等を示し、それら三棟を含む町歩きコースの提案を行なった。7章として吉良川に相応しい拠点施設を述べ、本修士設計をまとめた。

吉良川の概要

室戸市吉良川町伝統的建造物群保存地区に選定されたのは、西の川と東の川に挟まれた約18.3haの地区である。町並み構成の特徴として旧街道に面した浜地区とその背後の微高地に位置する丘地区という際立った相違のある二つの地区が一つの町並みの中に共存している事である。また町並みを特徴づける歴史として、祭りと備長炭という二つの事柄が挙げられる。

三棟の木造住宅概要

本修士設計では三棟の木造住宅をそれぞれA邸、B邸、C邸とし、計画を行なった。

・ A 邸

浜地区にある伝統的町並みが続く中の伝統的町家であり現在は空き家になっている。敷地は典型的な短冊型で表は旧街道、裏は国道に面している約 50m の奥行きのある敷地である。主屋は通り庭を有し、主屋裏には雪隠、離れが分棟として建っている。建物の損傷は激しい。



A 邸

・ B 邸

丘地区にある平屋建ての民家である。現在は御休み所として開放されている。敷地は方形で広い庭を有す。主屋の間取りは田の字で、改修によって土間部分が廊下になっている。また新たに主屋裏に風呂、便所が増築されている。建物は現在でも利用されており、損傷は見受けられない。



B 邸

・ C 邸

浜地区にある平屋建ての住宅であり、空き家になっている。主屋は田の字プランと広い土間によって構成されている。土間部分は昔、吉良川のバス停として利用されていた。現在では土間部分の梁が折れ、今にも崩れ落ちそうになっている。



C 邸

全体の計画方針

- ・ 三棟の伝統的木造住宅を改修し、既存の民家が持っている雰囲気や特徴を活かした空間にする。
- ・ これら三カ所を吉良川の町並みや自然、人との交流が楽しめる場所とする。
- ・ 建物や町並み、周辺環境も資料の一つであるような魅力的な展示空間をつくる。
- ・ 伝統的建物の外観を再現し、吉良川を表現する景観にする。

施設方針

・ A 邸

伝統的町並みの中心であることから吉良川の拠点となるような施設とする。また国道にも面していることから旧街道からの見え方、アプローチだけを考えるのではなく国道からの見え方やアプローチも考慮する。

・ B 邸

御田八幡宮に近く、参道にも面しているという立地を活かした施設にする。また方形の広い庭を有効的に利用する。

・ C 邸

吉良川の西部の核になるような施設にする。また、もともとバス停であり、人が集っていたという場所性を継承できるように人が立ち寄りやすい施設にする。

機能の提案

『町並み』、『お祭り』、『炭』という吉良川を代表する三つのテーマをそれぞれ三棟に振り分ける。三棟に分ける事で、より相応しい場所で充実した展示が可能になる。また、町歩きの途中で資料を閲覧してもらいながら休憩してもらい、ゆっくりと吉良川の時間の流れや自然を楽しんでもらおうと考えた。

『まちなみの舎』の提案

機能：町並み資料展示、町並み事務所、休憩所、インフォメーション

吉良川の町並み拠点施設にする。町並み駐車場からのアクセスが容易であることから吉良川のまち歩きの出発点、到着点に相応しい場所にする。

浜地区の伝統的町家の特徴を出来る限り継承する。町並み駐車場から吉良川の町並みに抜けるまでの『まちなみの舎』で吉良川の様々な知識を得てもらい、より町歩きを楽しんでもらえるような施設を提案した。



『まちなみの舎』

『おまつりの舎』の提案

機能：お祭り資料展示、休憩所

吉良川の町並みに大きな影響を与えた御田祭、神祭を紹介する施設にする。お祭り展示を楽しみながら、ゆっくりと休憩できる場所にする。

また、住民が企画するカジュアルな祭りの拠点としても利用できるような施設にする。そのため様々なイベントに対応できる自由度の高い建築、建物配置、展示方法の提案を行なった。



『おまつりの舎』

『炭の舎』

機能：炭資料、炭製品の販売展示、炭カフェ、休憩所

吉良川の特産品でもあり、吉良川の町並みに大きな影響を与えた炭（備長炭）を様々な方法で楽しめる施設。

昔はあった人が集まれる場所をつくり、町並みの西部の核になるような施設を提案した。



『炭の舎』